

活動レポート

ボランティアサークル騎兵隊

9月1日の「防災の日」にちなんで、災害ボランティアをしている騎兵隊にインタビューしました！

設立のきっかけは？

97年に福井県で起こった、タンカー船重油流出事故です。惨状をテレビで見、「何かしなければ、助けられることはないか」と思い、仕事場の仲間数人と重油回収のボランティアに行きました。そのとき



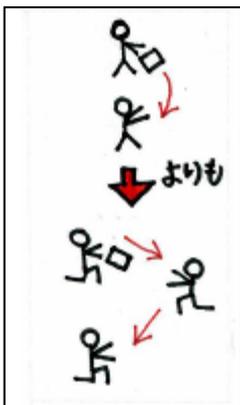
代表 倉増 辰也さん

に、ボランティアの一体感、つまり、いろいろな県から集まったいろいろな人同士が通常の社会での肩書きに関係なく、一つの目標に向かって同じ思いで作業できるすばらしさを感じました。そういった雰囲気やつながりをこのボランティアだけで終わらすのはもったいない、ということで結成したのが「騎兵隊」です。

災害ボランティアというと大変そうですが...？

私達は、楽しく無理なくやる、をモットーに活動しているので、大変ということはありません。むしろ、災害現場ではその場で状況が異なるので、ルールがありません。そのなかで、自分たちで一番安全な方法で楽しくできるように考えることにやりがいを感じます。

例えば、土嚢（どのう）を人が流れ作業で運ばなければならないときに、縦一列に並んでしまうと、前の人から土嚢を受け取って後ろの人に振り返って渡すようになり、余計な体力と時間を使ってしまう。が、並び方をジグザグにすればスムーズに運べる、といった具合です。



<運び方の工夫>

災害時以外はどんな活動を？

毎年6月の第1週目に、築港町の一部の道路のゴミ拾いをしています。これは、全国的な清掃活動である「列島クリーン作戦」の一環として行なっているものですが、

タイヤやエアコンのファンなどの不法投棄もあり、毎回、軽トラック一台分の量が集まります。

今年は雨降りのなか、がんばりました！



<列島クリーン作戦の様子>

また、光市全体で取り組んでいる「クリーン光大作戦」に参加し、人手の少ない光市伊保木地区の海岸清掃もしています。

年末が近づくと、須々万の特別養護老人ホーム「友愛園」へ行き、普段、職員の人の手が届きにくい箇所の掃除や電球交換をしたり、車椅子を綺麗にしたりしています。

活動していてよかったことは？

年齢、性別に関係なく、損得を抜きにした人間関係ができることです。そしてやはり、ボランティアした相手に喜んでもらえる自分たちも嬉しいです。

また、災害の場で地元の人と話すことで、被災した気持ちが分かるとまではいかなくとも、推察しやすくなります。

今後の目標は？

先日起こった岩手・宮城内陸地震は、県外のボランティアは募集していなかったので行けませんでした。が、山口県内で災害が起こったときに役に立てれば、と思っています。そのために、活動を少しずつでも長く続けていきたいです。

明るく、楽しく、元気よく、をモットーにしていますので、お気軽にご参加ください！



ボランティアサークル騎兵隊

Tel 090-7978-3644(倉増)

Eメール kiheitai.y@gmail.com

URL <http://kihe1997.hp.infoseek.co.jp/>

(「騎兵隊」で検索できます)